

気走会

●市長の政治姿勢

議員 岡本太郎さんの巨大壁画の誘致について伺いたい。

市長 壁画誘致については、本市全体の事業における優先度や緊急性及び公益性を考慮すると、困難であると判断している。

壁画は被爆国である日本のシンボルでもあり、今後、多くの人々の目に触れやすい適切な場所に設置されることにより、長崎と広島の平和への願いもさらに広く理解されるものと考えている。

市民の会

●原爆被爆対策

議員 被爆体験者の完全救済について伺いたい。

市長 被爆体験者精神影響等調査研究事業については、平成17年度に制度が改正され、従来の対象者のうち約3割の方が被爆体験精神医療受給者証の交付を受けることができなかったが、長崎原子爆弾被爆者援護強化対策協議会による要望の結果、再検査を実施し、新たに736人の方が認定された。

本市としては、引き続き制度改善に取り組んでいきたい。

草の根クラブ

●子育て支援

議員 児童虐待防止のための取り組みについて伺いたい。

市長 本市では児童虐待をはじめ、子どもに関わる総合的な相談窓口を設置し、保健師など10名の相談員を配置し、電話や来所、訪問での相談のほか、携帯メールでの相談も行っている。

また、要保護児童の早期発見や適切な保護を目的に情報を共有し、効果的な支援を図るため、32の関係機関で組織する長崎市親子支援ネットワーク地域協議会を設置している。

総務委員会

委員会審査の主な内容

各常任委員会における主な議案の審査状況は、次のとおりです。

市民力向上検討費など平成19年度一般会計補正予算(第1号)を可決

歳出において、市長が施政方針で取り上げた「市民力」に関連する「市民力向上検討費」が計上されていることから、市民力の定義、市民力に求める内容、今回の取り組みで目指すものの具体的なイメージなどについて論議が集中するとともに、既存の各種審議会・市民委員会等との相違点やこれらの整理の必要性、本取り組みを行うに

当たり、行政が主体となりリードする必要性などについて、慎重に審査しました。

また、歳入においても種々審査した結果、市民力向上検討費について、新市長が意気込みをもって補正予算を計上したと思うが、もう少しはつきりとした形で議会に対して示してほしいとの要望を付した賛成意見が出され、異議なく原案を可決しました。

厚生委員会

「平成19年度長崎市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)」を可決

本補正予算は、平成20年度から生活習慣病に主眼をおいた特定健康診査・特定保健指導の実施が各医療保険者に義務づけられたことに伴い、その準備費用について補正予算が計上されていることから、委員会では、特定健康診査の内容及び実施方法などについて慎重に審査しました。

その結果、国保加入者に財政負担を求めようとする本議案には反対であること、住民と自治体に負担を強いるような健康診査・保健指導については認めがたいことを主な論拠とする反対意見が出されました。

一方、病気を未然に防ぐことを目的とした制度であるので、十分に研究をして市民に貢献できるようにしてほしいとの要望を付した賛成意見が出され、採決の結果、賛成多数で原案を可決しました。

文教経済委員会

「経済成長戦略策定費など平成19年度一般会計補正予算(第1号)」を可決

商工費において、地域経済の成長と発展に向けた明確な経済成長戦略を策定しようとする経済成長戦略策定費及び中・長期的な本市の観光戦略を策定しようとする観光戦略策定費が計上されていることから、本市における産業振興事業の実績や、観光振興の検討に係るこれまでの取り組みについて慎重に審査しました。

委員会では、商工費における経済成長及び観光に係る戦略策定費については、新市長の思いもあり予算計上していると思うが、これまで取り組んできた事業の検証・評価を行うとともに、本委員会における議論を踏まえ、これまでの成果が生かされる計画を策定してほしいとの要望を付した賛成意見が出され、異議なく原案を可決しました。

建設水道委員会

市道路線の認定についてを可決

本件は、道路整備事業等に伴い、市道として3路線を認定しようとするものです。

委員会では、3路線のうち、国道206号から琴海病院への進入道路となっている土地の賃貸借契約の期限が来年3月末であることから、同病院への新たな進入道路としようとする琴海形上町41号線について質疑が集中し、住民の